

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について

The Correlation between Female Students' Consciousness of the Body and the Coordination of Clothes

福 村 愛 美
Manami Fukumura

Abstract

This is the correlation between the of female students'consciousness of the body and the coordinate of clothes. The results are as follows:

- 1.For the clothes silhouette female students tend to choose the silhouette that looks slender.
- 2.For the design of clothes simplicity is popular with female students.
- 3.For the color and pattern female students tend to choose white, black and plain.
- 4.The size and worries about their body are relevant to their choice of silhouette and design of the clothes.

要 旨

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について調査した結果、衣服のシルエットについては、細く見えるシルエットが好まれている。衣服のデザインに関しては、流行の影響が強いが、落ち着いたシンプルなデザインに人気がある。衣服の色や柄に関しては、白や黒、無地など無彩色で、柄が目立たないものが好まれる。

衣服のシルエットやデザインと、サイズや身体の悩みの有無、理想とする身体、満足度、着装行動などとの関連性は、あまり強くはなかった。しかし個々に関して、サイズや身体の悩みの有無と好みの衣服デザインとの間に、また着装行動とデザインなどとの間に関連性があると言える。

1. 緒 言

女性が自己のプロポーションをより美しく見せようとするのは、古今東西普遍的な事柄である。その時代や場所によって理想とするプロポーションは、各々異なるかもしれないが、プロポーションの美しさを追求しなかった時代はなかったと思う。特に現代では、すべての面で豊かになり、自己の身体に対する意識は、大変高まっている。若い女性は痩せたいという願望が強く、ダイエット療法が次々と現れ、たいした成果が出なくても、廃れることがない。しかし体型を簡単に変化させる事は困難なので、次に注目されるのは身体を被い隠す衣服である。衣服に関しては特別努力を必要とせず、手軽で意外と効果的であると考えられる。

前報では、女子学生の身体に対する意識と着装行動との関連について分析を行い、女子学生が下半身に対する悩みを多く持ち、身体に対する満足度も低いということや、サイズと身体に対す

る悩みの有無や満足度、またそれらと着装行動などとの間に強い関連性があることを明らかにすることができた。本研究の目的は、女子学生の好む衣服のシルエットや、デザインの傾向を明らかにするとともに、身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連について、調査をもとに明らかにすることである。

2. 方 法

調査は、1987年12月上旬に、近畿圏の女子大、女子短大に在学する満18才から25才までの女子学生350名を対象に、質問紙による配票留置法で行った。質問紙では、衣服のシルエットやデザインなど用語だけでは理解しにくい項目は、絵を参考に回答してもらった。有効回収数320票で、回収率は91.4%であった。調査項目は、基本属性、身体サイズ、身体各部位に対する悩みの有無(42項目)、身体に対する満足度(4項目、5段階評価)、理想とする身体(24項目、形容詞対で5段階評価)、着装行動(46項目、3段階評価)、好きな衣服のシルエット、好きな衣服のデザイン(季節別)、好きな衣服の色や柄である。分析方法は、まず調査データを項目別に単純集計し、好みの衣服のシルエット、デザイン、丈、色、柄を明らかにした。次に好みの衣服のシルエット、デザイン、丈、色、柄と、号数(バストによるサイズ)、身体に対する悩みの有無、理想とする身体、身体に対する満足度などとのクロス集計を行い、カイ二乗(χ^2 値)及び \sqrt{Cr} 値をもとに、相互の関連性を明らかにした。

表1-1. 調査項目の内容(身体各部位に対する悩みの有無)

全体的なスタイルについて	
太い 背が低い 胴が長い	細い 背が高い その他
上半身について	
バストが小さい 肩幅が広い いかり肩 腕が太い 手が大きい	バストが大きい 肩幅が狭い なで肩 手が小さい その他
下半身について	
ウエストが細い ヒップが大きい おなかが出ている 脚が太い 太ももが太い O脚 その他	ウエストが太い ヒップが小さい ヒップが垂れている 足が細い 足が大きい X脚
顔について	
顔が大きい 首が太い 肌の色が黒い 丸顔 楕円形の顔 その他	顔が小さい 首が短い 肌の色が白い 四角張った顔 三角形の顔

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネイトとの関連性について

表1-2. 調査項目と評価の内容（身体に対する満足度）

項目	5段階評価
全体的なスタイルについて	満足している
上半身について	まあ満足している
下半身について	普通
顔について	少し気に入らない 気に入らない

表1-3. 調査項目と評価の内容（理想とする身体）

五段階評価	A					B				
	A	の	ややAの方	い え ない	ど ち ら も	ややBの方	の	B		
項目 （形容詞対）	細い							太い		
	背が高い							低い		
	胸が短い							長い		
	肩幅が狭い							広い		
	なで肩							いかり肩		
	バストが大きい							小さい		
	腕が細い							太い		
	指が細い							太い		
	手が小さい							大きい		
	ウエストが細い							太い		
	ヒップが小さい							大きい		
	ヒップアップしている							ヒップが垂れている		
	おなかがへこんでいる							出ている		
	脚が細い							太い		
	X脚							O脚		
	太ももが細い							太い		
	足首が細い							太い		
	足が小さい							大きい		
	脚が長い							短い		
	顔が小さい							大きい		
首が細い							太い			
首が長い							短い			
肌の色が白い							黒い			
長顔							丸顔			

表1-2. 調査項目と評価の内容（身体に対する満足度）

項目	3段階評価
1) すっきりしたシルエットの衣服を着る。	はい
2) 体格のでるニットのような素材は避ける。	あまり考えない
3) 派手な柄や大柄は避ける。	いいえ
4) 膨張色は避ける。	
5) 全体を同系色で統一する。	
6) ボタンなどの装飾品の効果を考える。	
7) 下着によって体型を補正する。	
8) 上下の衣服の組み合わせに気を配る。	
9) 上下の衣服の配色に気を配る。	
10) 上下の衣服の丈の長さに気を配る。	
11) 全体の衣服の長さの効果を考える。	
12) プリンセスラインの衣服をよく着る。	
13) 逆三角形のシルエットのものをよく着る。	
14) 縦長の印象を与えるように心がける。	
15) 上半身の丈の短いものを着る。	
16) ベルトの幅による効果を考える。	
17) ポイントを上部にもってくる。	
18) ウエストラインに切り替えのある衣服を着る。	
19) ハイウエストの衣服を着る。	
20) ローウエストの衣服を着る。	
21) 肩パットをつける。	
22) 肩幅の広くないものを着る。	
23) バストの形がきれいに見える衣服を着る。	
24) あまり体にフィットしない素材を選ぶ。	
25) 下着で補正する。	
26) 袖の形を考えて衣服を選ぶ。	
27) 袖の付き方に気をつける。	
28) バストのめだたないデザインを選ぶ。	
29) ハイウエストで胸を強調する。	
30) スカートの丈に気をつける。	
31) スカートの形に気をくばる。	
32) 下半身にポイントのある服は着ない。	
33) ぴったりとしたスカートは避ける。	
34) ウエストはしめる。	
35) パンツははかない。	
36) キュロットスカートははかない。	
37) ベルトをする。	
38) ストッキングの柄物ははかない。	
39) ストッキングの色に気をつける。	
40) 靴のデザインに気をつける。	
41) 靴のヒールの高さに気をつける。	
42) 襟ぐり、形に気をくばる。	
43) 肩幅を強調する。	
44) コントラストの強い配色にする。	
45) 首のVゾーンに気を配る。	
46) 髪型にも気を配る。	

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について

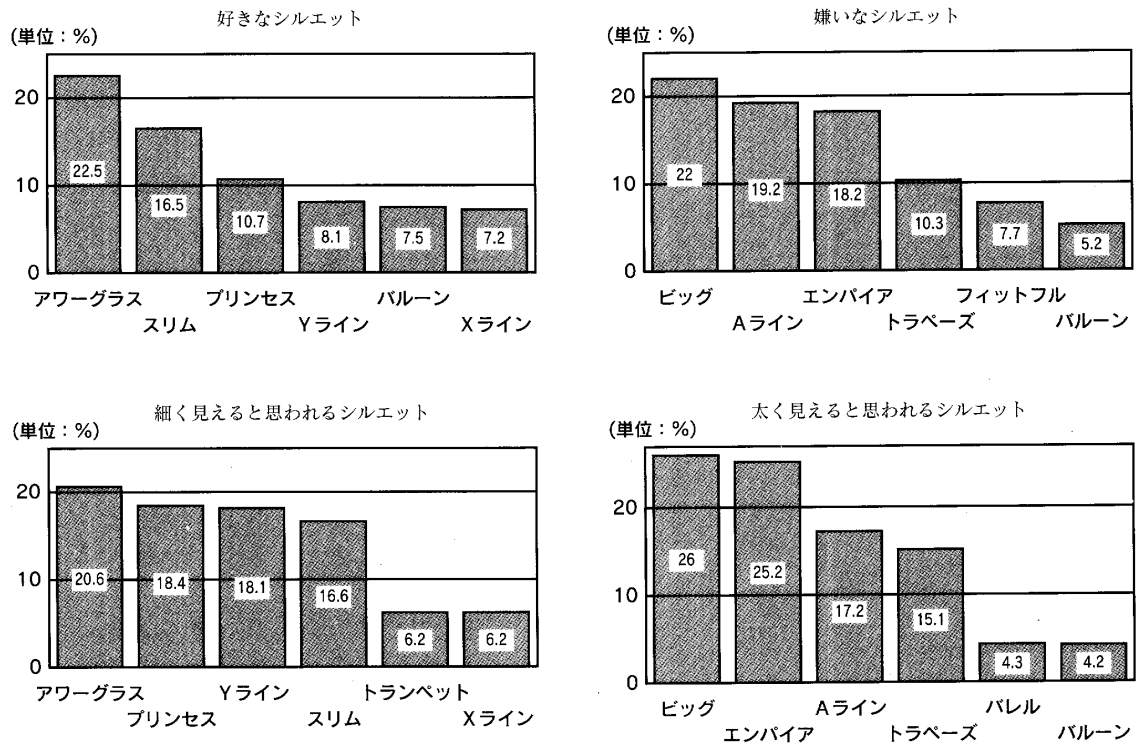


図1. 衣服のシルエット

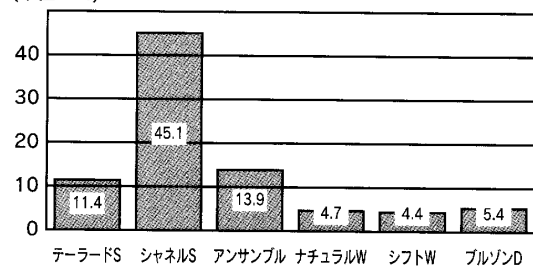
3. 結 果

3-1 単純集計結果

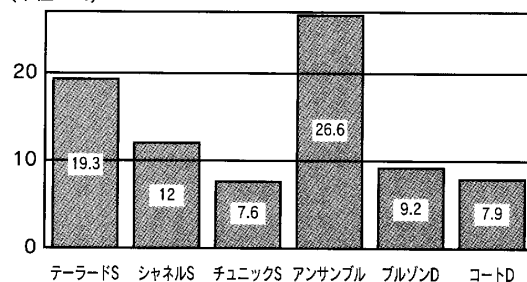
図1の衣服のシルエットに関しては、好きなシルエットと、細く見えると思われるシルエットの傾向はよく似ていて、プリンセス・シルエットや、アワーグラス・シルエットなどタイト型のフィット性の高いデザインが好まれている。また嫌いなシルエットと、太く見えると思われるシルエットも同じ傾向で、Aライン・シルエットやビッグ・シルエットなど、ゆとりの大きなデザインが敬遠される。つまり少しでも細く見えるデザインが、一般的に好まれている。

図2の衣服のデザインに関しては、スーツ・ワンピースでは、春はこの時期流行のシャネル・スーツ(45.1%)の人气が高く、入学式や入社式の影響もあると考えられる。夏はやや大人っぽい体にフィットしたラップ・ドレス(29%)に人气があり、秋はアンサンブル・スーツ(26.6%)、冬はチュニック・スーツ(30.9%)が好まれている。全体的に落ち着いたシンプルなものに人气があり、子供っぽいものや、ギャザーの多いかわいいうデザインは嫌われている。上衣では、春はシャツ・ブラウス(31.1%)が大変人气があり、夏はサマー・セーター(26.7%)、Tシャツ(18.2%)が好まれている。秋はシャツ・ブラウス(15.4%)に、プルオーバー・セーター(12.9%)、カーディガン(17.6%)、冬もプルオーバー・セーター(30.1%)とフィッシュマン・ニット(29.8%)などニット類に人气がある。上衣は、全般的にオーソドックスなデザインが好まれてるといえる。スカート・パンツ類では、オールシーズンを通してタイト・スカートが、圧倒的に人气が高いという結果が得られた。流行の影響も強いと思われるが、やはりシンプルなデザインを好む傾向が認められる。その他には、春と秋はプリーツ・スカート、夏はバミューダー・パンツ、冬はシガレット・パンツも人气がある。季節に応じてパンツスタイルも好まれているといえる。

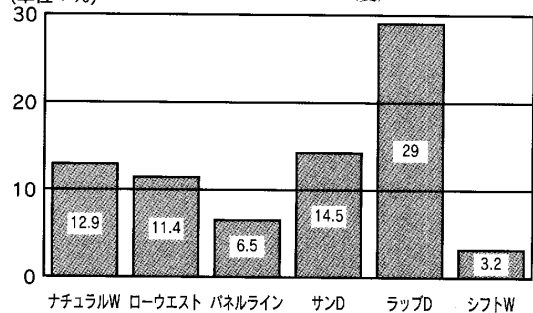
(単位：％) スーツ・ワンピース(春)



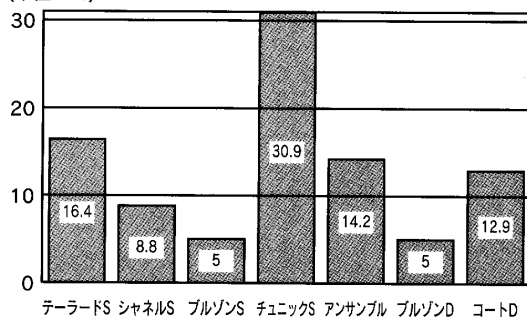
(単位：％) スーツ・ワンピース(秋)



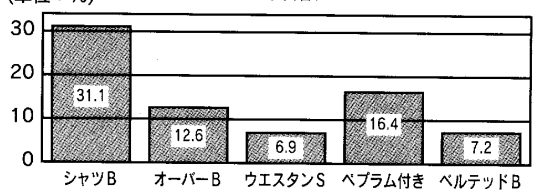
(単位：％) スーツ・ワンピース(夏)



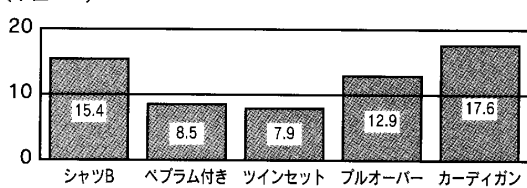
(単位：％) スーツ・ワンピース(冬)



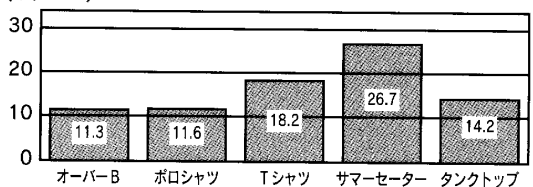
(単位：％) 上衣(春)



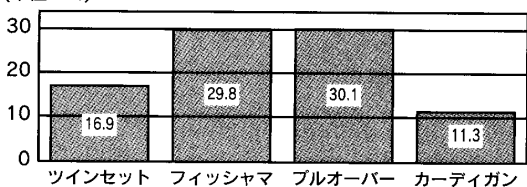
(単位：％) 上衣(秋)



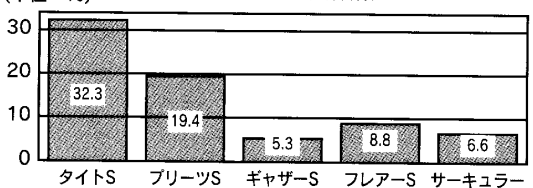
(単位：％) 上衣(夏)



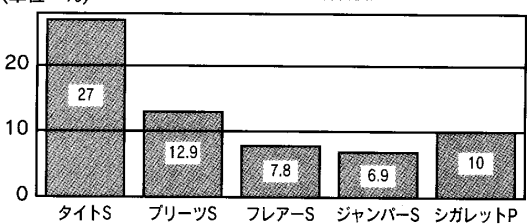
(単位：％) 上衣(冬)



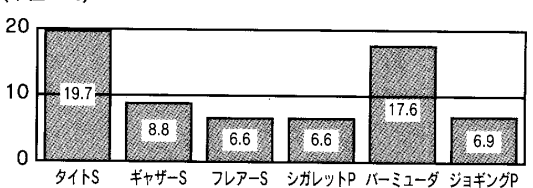
(単位：％) スカート・パンツ類(春)



(単位：％) スカート・パンツ類(秋)



(単位：％) スカート・パンツ類(夏)



(単位：％) スカート・パンツ類(冬)

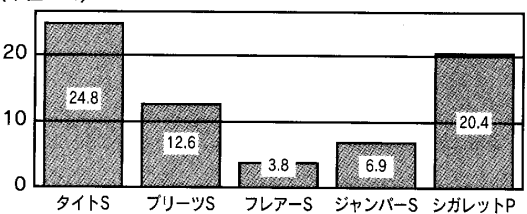


図2. 好きな衣服のデザイン

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について

図3のスカート丈の好みに関しては、ノーマル丈(35.1%)とミニ丈(34.5%)が、ほぼ同程度に好まれている。これはこの時期タイトミニが流行していた影響が強いと考えられる。しかし実際に選んだ理由には、好きな丈である(40.3%)とか、似合う丈である(31.4%)と、答えたものが多かった。図4の好きな衣服の色については、白(29.2%)と黒(21.4%)が大変好まれていて、次に、赤色系、紺色系、茶色系が好まれている。傾向としては、原色より、無彩色が好まれている。選んだ理由としては好きな色(63.5%)と答えている人が多いという結果が得られた。図5の好きな衣服の柄、(柄の大きさ)に関しては、無地(44.2%)が大変好まれ、次に格子柄(21.4%)に人気がある。柄の大きさも小柄の方が72%と、好まれる傾向が強かった。

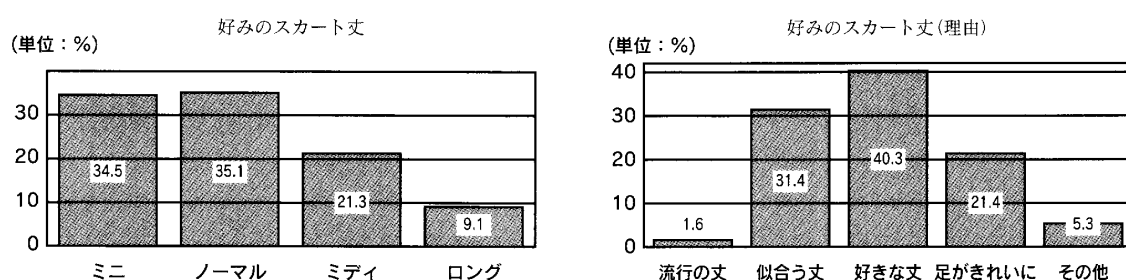


図3. 好きなスカート丈、(その理由)

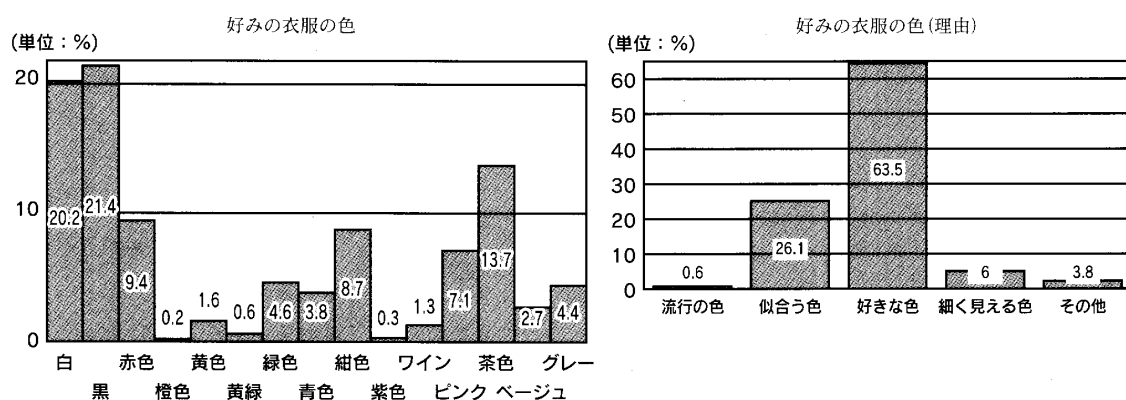


図4. 好きな衣服の色、(その理由)

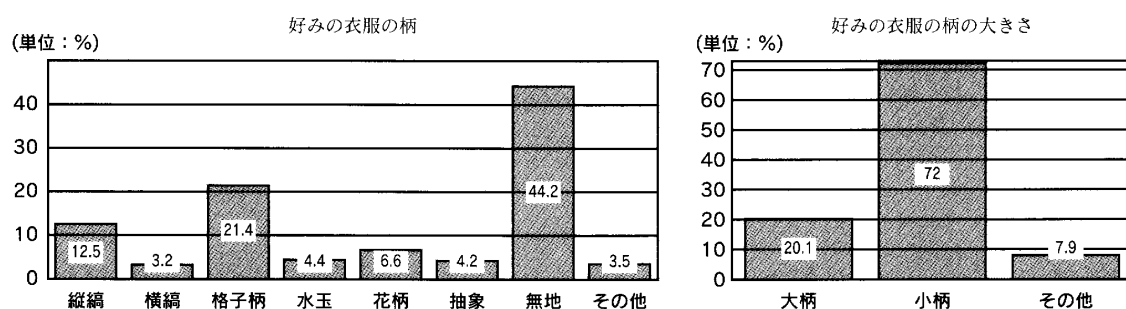


図5. 好きな衣服の柄、(柄の大きさ)

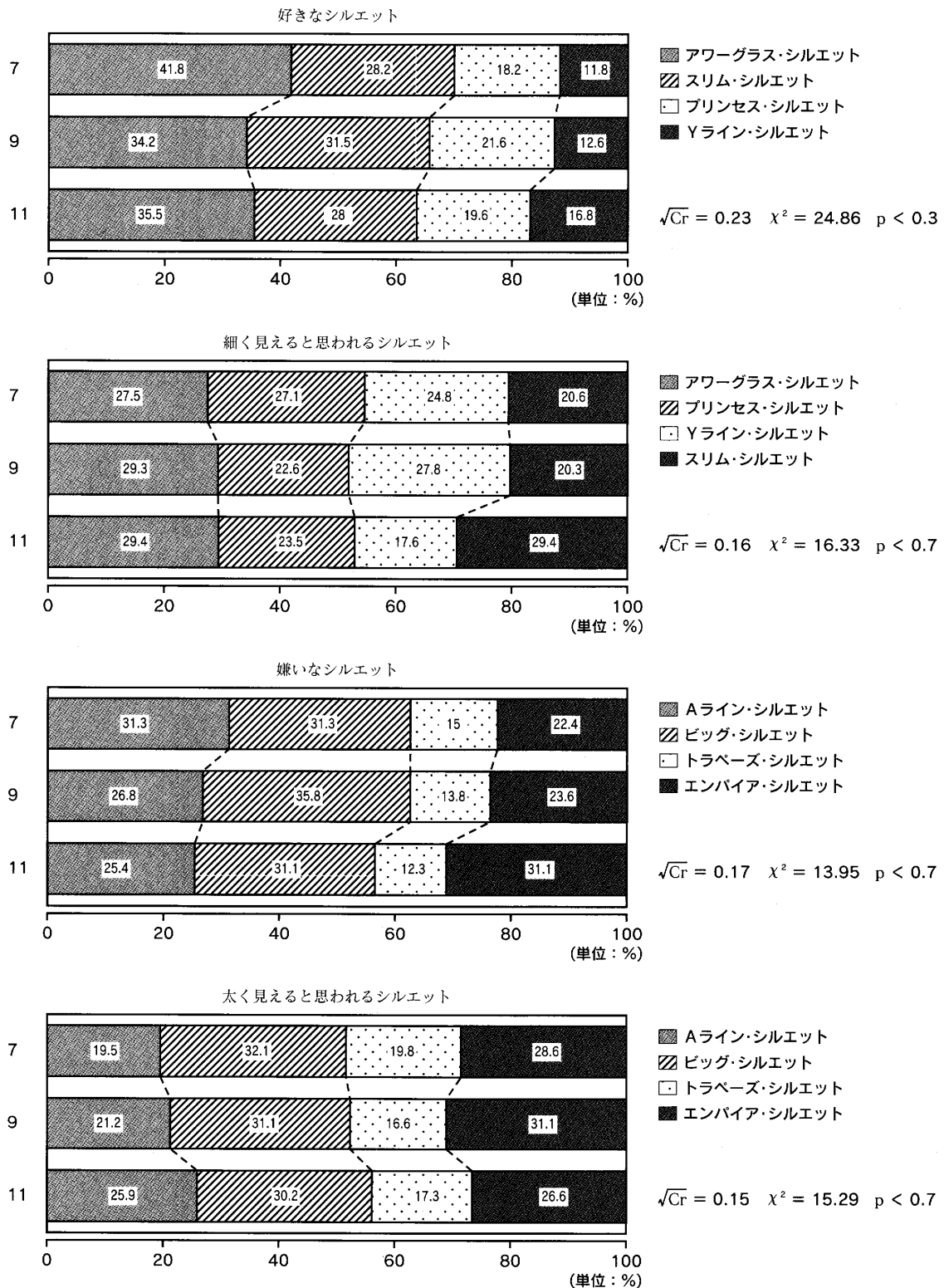


図6. 号数と衣服のシルエットとのクロス集計結果

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について

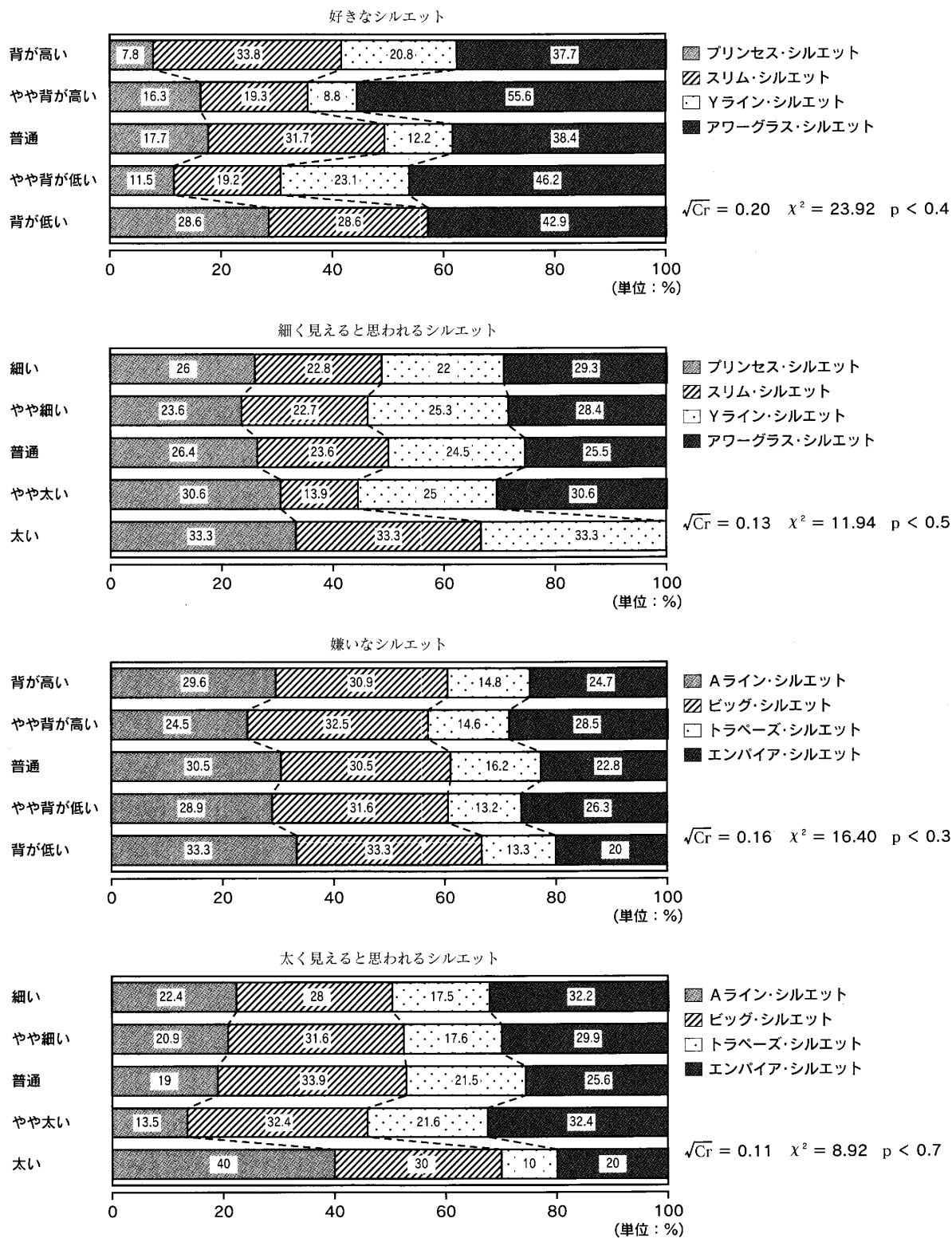


図7. 理想とする身体と衣服のシルエットとのクロス集計結果

3-2 クロス集計結果

図6は号数と衣服のシルエットの好みとのクロス集計結果を示したものであるが、好きなシルエットでは、7号サイズの人がアワーグラス・シルエット(41.8%)を好むことがわかる。細く見えると思われるシルエットでは、11号サイズの人が、7、9号サイズの人に比べて、スリム・シルエットを選んでいる比率が高いといえる。嫌いなシルエットでは、9号サイズの人にはビッグ・シルエットを35.8%と多くあげている。太く見えると思われるシルエットでは、11号サイズの人が、7号、9号サイズの人よりもAライン・シルエットを選ぶ比率が高く、9号サイズの人、7号、11号サイズの人よりもエンパイア・シルエットを太く見えると考えている。図7は理想とする身体と衣服のシルエットの好みとのクロス集計結果を示したものであるが、好きなシルエットについて χ^2 値からも明らかなように身長の高さに関する理想では、どのような理想を持っていても、アワーグラスシルエットを一番好んでいる。細く見えると思われるシルエットでは、太い体型を理想とする人以外は、皆似た傾向である。また太く見えると思われるシルエットでも、太い体型を理想とする人以外は、ビッグ・シルエットとエンパイア・シルエットを太く見えると考えている。嫌いなシルエットでは、全般的にビッグ・シルエットを特に嫌いと考えていて、次にAライン・シルエット、エンパイア・シルエットを嫌いであると思っている。図8は身体に対する満足度と衣服のシルエットの好みとのクロス集計結果を示したものであるが、好きなシルエットに関して満足グループは、アワーグラス・シルエット(42.2%)を好み、不満足グループは満足グループに比べて、スリム・シルエット(29.9%)を好む傾向にある。

図9は号数と好きな衣服のデザインとのクロス集計結果を示したものであるが、 χ^2 値をみても明らかなようにスーツ・ワンピースでは、7、9号サイズの人が、春には特にシャネル・スーツ(62.3%、62.5%)を好み、秋にはアンサンブル・スーツ(38.5%、38.1%)を好む傾向にある。上衣の夏は、すべてのサイズで比較的同傾向にあり、スカート・パンツ類の冬では、サイズが大きい人程タイト・スカート(7号が32.9%、9号が37.2%、11号が44.2%)を好むといえる。図10は身体に対する悩みの有無と好きなデザインとのクロス集計結果を示したものであるが、腕が太いという悩みを持っていない人の方が、夏に好んでタンク・トップ(21.5%)を着ている事がわかる。顔に関する悩みでは、顔が大きいとか、丸顔であるといった悩みを持つ人の方が、シャツ・ブラウス(49.3%、46.8%)を好む傾向にある。悩みが多かった下半身と、デザインの関係では、ヒップが大きいとか、おなかが出ているとか、ふとももが太いなどの悩みを持っていない人の方がタイト・スカート(48.3%、44.4%、39.8%)を好んでいる。これはタイト・スカートは、体型をはっきり現しやすいせいであるといえる。図11は着装行動と好きなデザインとのクロス集計結果を示したものであるが、すっきりしたシルエットの衣服を着るよう心がけている人は、テーラード・スーツ(27%)を好み、逆に心がけていない人は、チュニック・スーツ(50%)を好む。また上下の衣服の組み合わせに気を配らないと答えた人の方が、ローウエスト・ワンピース(50%)を好む傾向にある。下半身の体型カバーとスカート・パンツ類の夏のデザインとの関係については、スカートの形に気を配る人程タイト・スカート(41.1%)好み、気を配らない人程バーミュダー・パンツを好むことがわかる。

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について

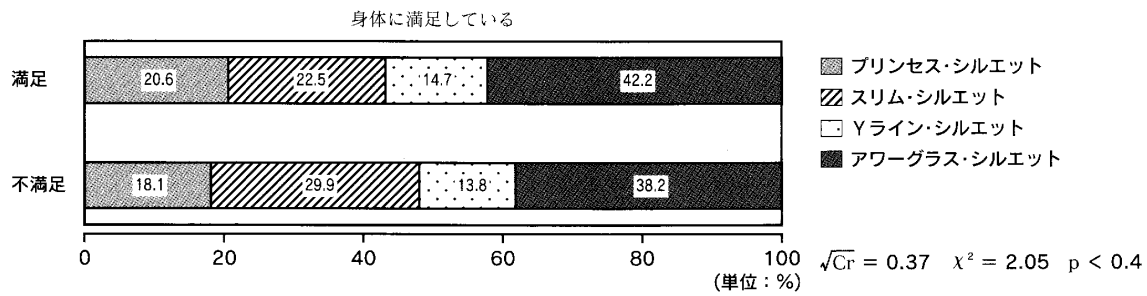


図8. 身体に対する満足度（グループ別）と好きな衣服のシルエットとのクロス集計結果

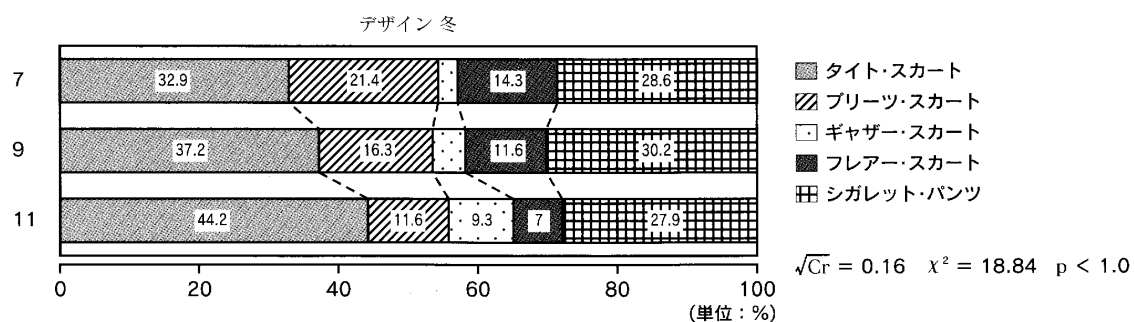
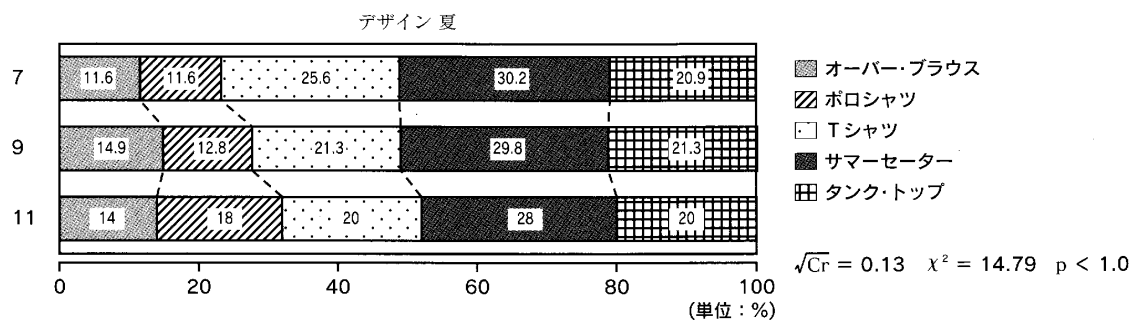
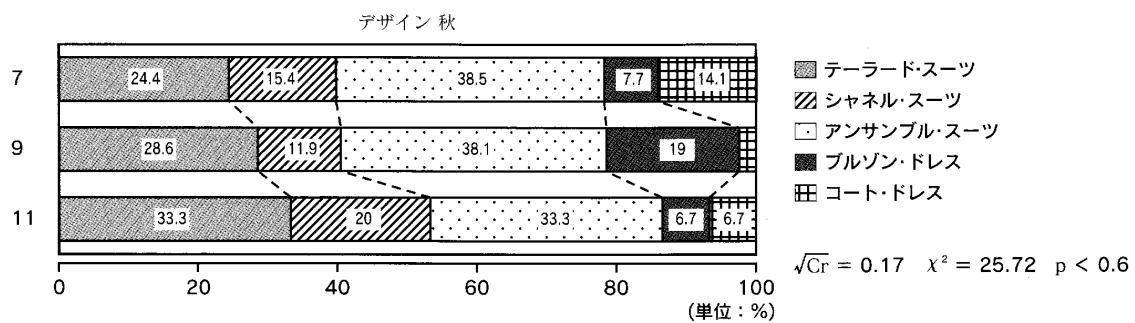
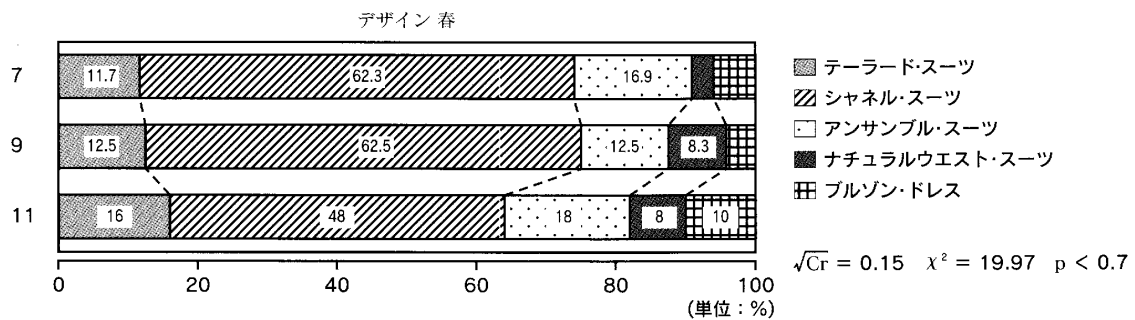


図9. 号数と好きな衣服のデザインとのクロス集計結果

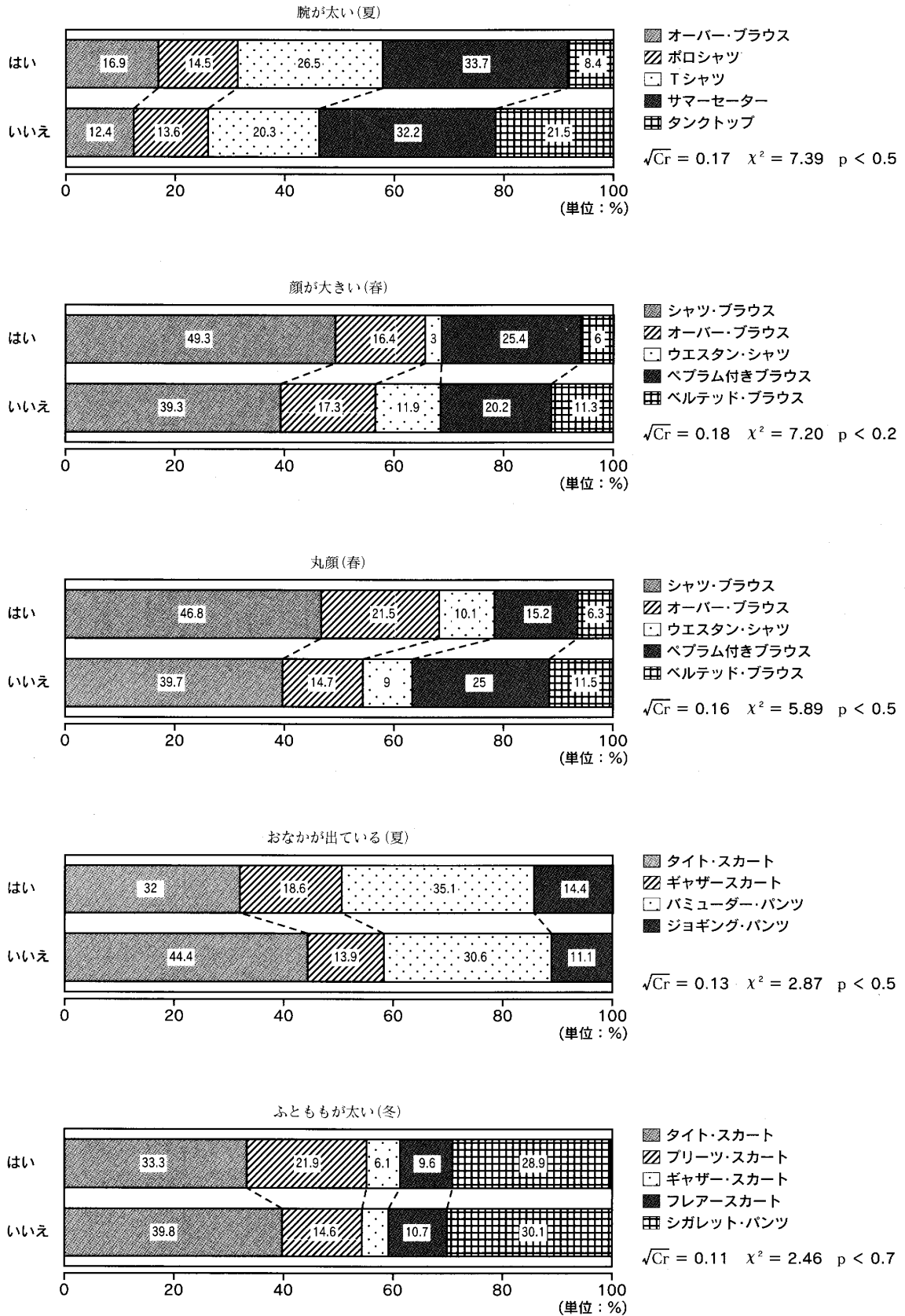


図10. 身体に対する悩みの有無と好きなデザインとのクロス集計結果

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について

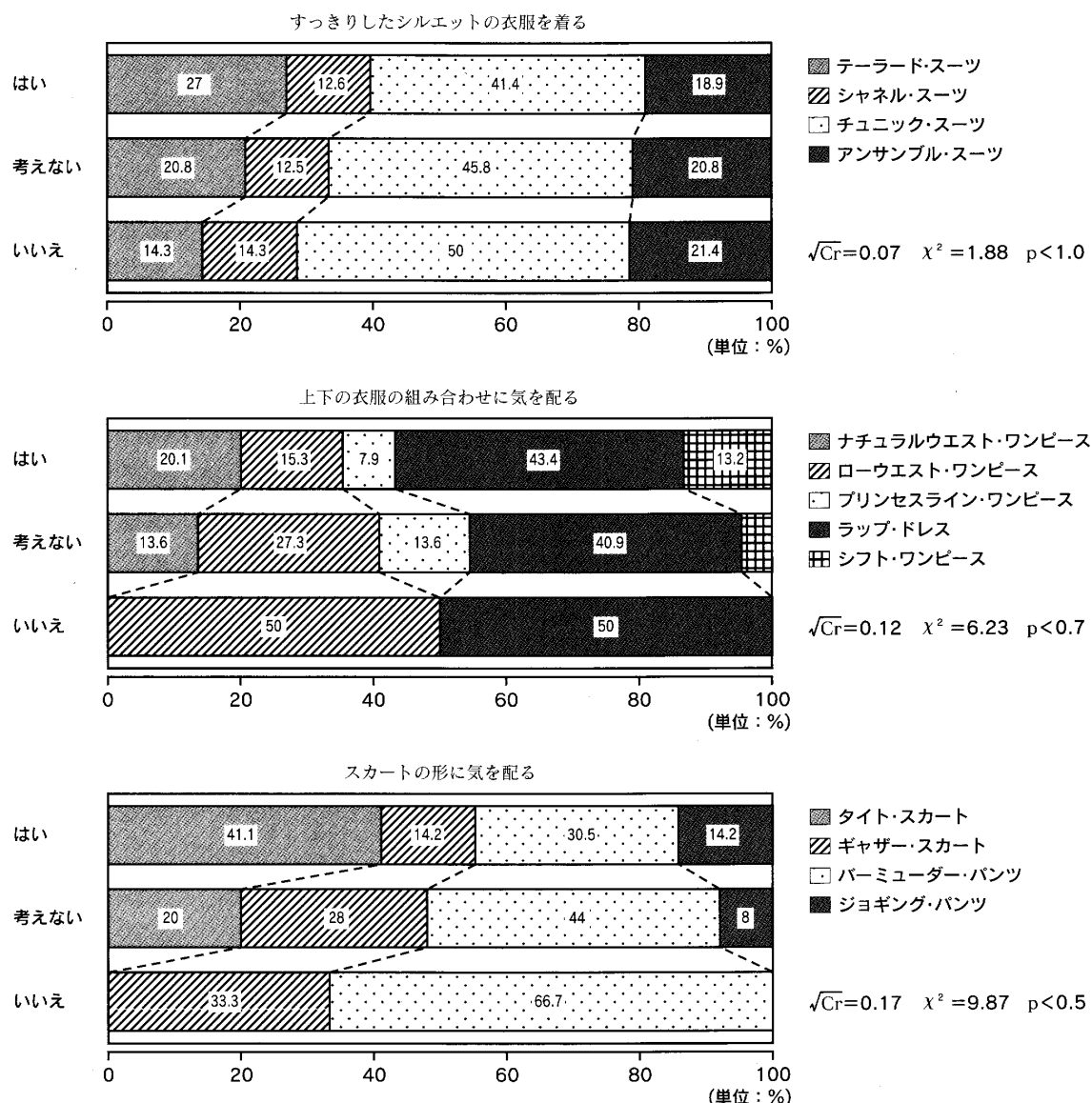


図11. 着装行動と好きなデザインとのクロス集計結果

図12は号数と好きなスカート丈とのクロス集計結果を示したものであるが、 χ^2 値からも明らかなようにサイズが大きい人程ミニ丈を好んでいる。選んだ理由としてはサイズが大きい人程似合うからと答え、サイズが小さい人程好きだからと答えている。図13は身体に対する悩みの有無と好きなスカート丈とのクロス集計結果を示したものであるが、足が太いという悩みがある人は、ノーマル丈(39.7%)を選び、悩みのない人はミニ丈(41%)を好んでいる。これは足に自信のある人の方が、足をだしているといえる。ふとももが太いという悩みに関しては、悩みの有無によってスカート丈の好みの違いはあらわれなかったが、これはミニ丈であろうがノーマル丈であろうが、ふとももは隠れるために関係ないことを示していると思われる。図14は着装行動と好きなスカート丈とのクロス集計結果を示したものであるが、スカートの丈に気をつけると答えた人の方がミニ丈(35.9%)を好み、気をつけない人の方が、ノーマル丈(44.4%)を好むことがわかった。また靴のヒールの高さに気をつけない人程、ミディ丈、ロング丈を好んでいるので、スカート丈が短い方が靴のヒールの高さまで気を配るようになるといえる。

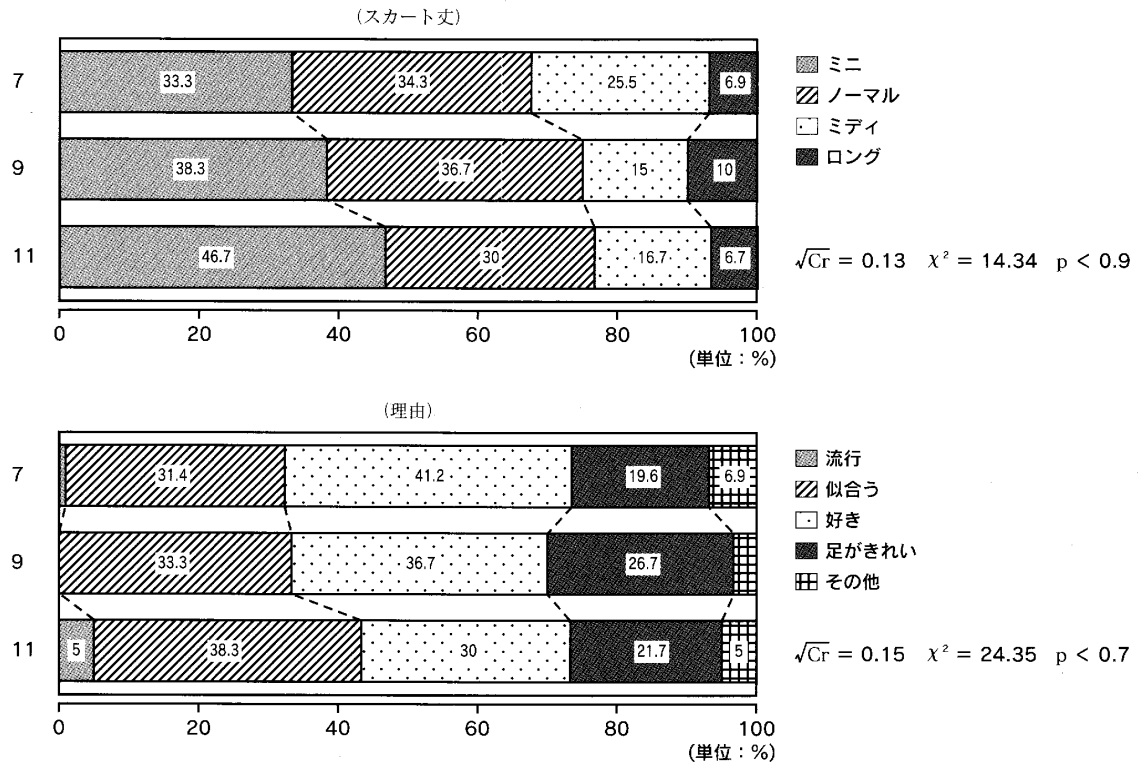


図12. 号数と好きなスカート丈、(その理由)とのクロス集計結果

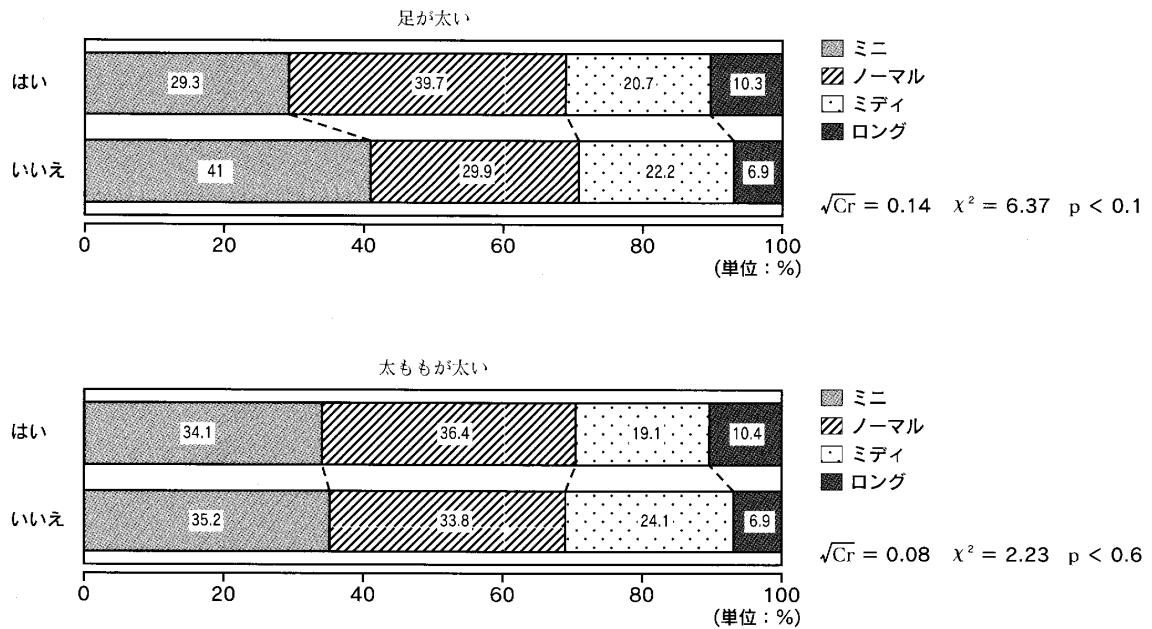


図13. 身体に対する悩みの有無と好きなスカート丈とのクロス集計結果

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について

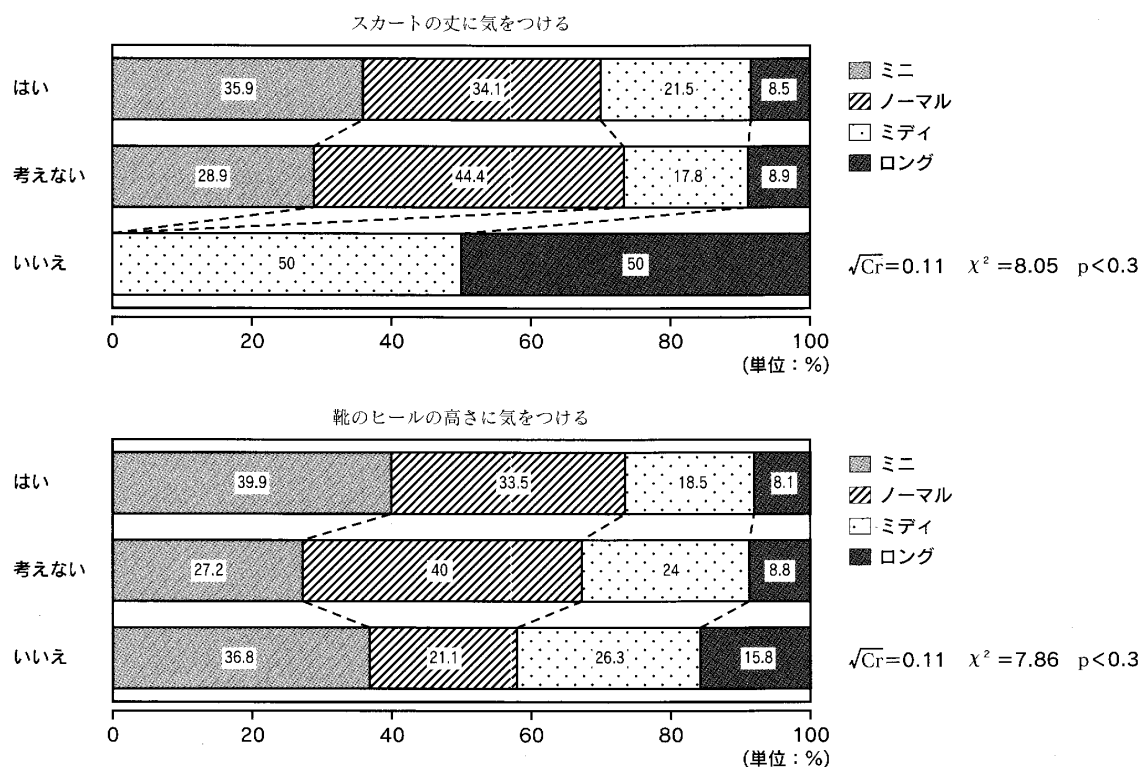


図14. 着装行動と好きなスカート丈とのクロス集計結果

図15は号数と好きな衣服の色(その理由)とのクロス集計結果を示したものであるが、全体的に好きな色の傾向は同じであるが、7号、11号サイズの人好み特に類似していて、白色、黒色、茶色系の順に好んでいる。9号サイズの人、黒色、白色、茶色系の順で好んでいて、赤色系(17.4%)や紺色系(15.2%)も7号、11号サイズの人よりも好んでいる。理由としてはサイズによる違いはほとんどなく、単純に好きな色だからという回答が圧倒的に多く、次に似合う色だからという理由が多くあげられた。図16は着装行動と好きな衣服の色とのクロス集計結果を示したものであるが、すっきりしたシルエットの衣服を着るかどうかという着装行動の違いによって好きな衣服の色の違いは、ほとんどみられなかった。上下の配色に気を配るという着装行動との関係は、全体的には黒色と白色が好まれているが、気を配る人程白色を好む傾向にある。また気を配らない人が、赤色系を44.4%好んでいて、気を配る人(12.4%)、あまり考えない人(7.5%)に比べて比率が大変高く、配色をあまり気にしない人は、無難な無彩色を選ばず、赤色系の様な派手な色を好む傾向にあると考えられる。

図17は理想とする身体と、好きな衣服の柄とのクロス集計結果を示したものであるが、背が高いという理想を持っている人の方が縦縞を好んでいることがわかる。これは縦縞が背を高く見せる効果があるからだといえる。柄の大きさに関しては、背が高いという理想を持っていない人の方が小さい柄を好む傾向にある。やはり大きく見せたくないという気持ちが働いていると考えられる。図18は、着装行動と好きな衣服の柄とのクロス集計結果を示したものであるが、すっきりしたシルエットの衣服を着るように心がけている人の方が縦縞を好み、心がけていない人の方が無地を好む傾向にある。

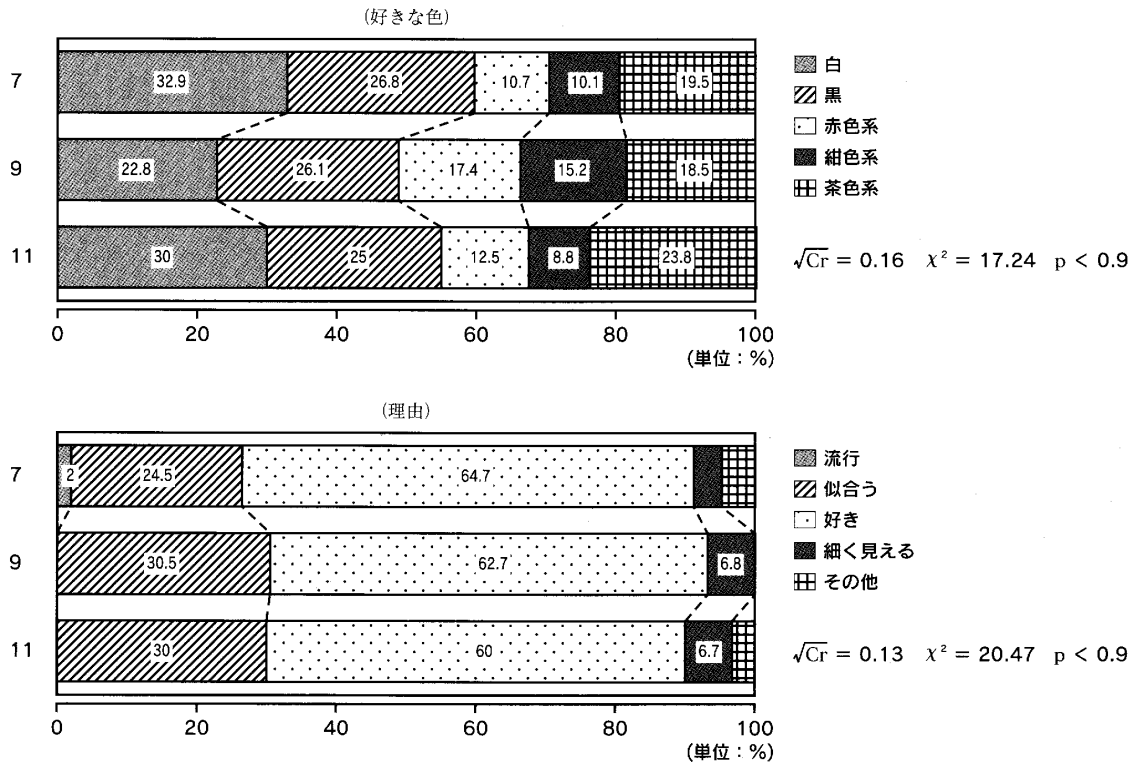


図15. 号数と好きな衣服の色、(その理由) とのクロス集計結果

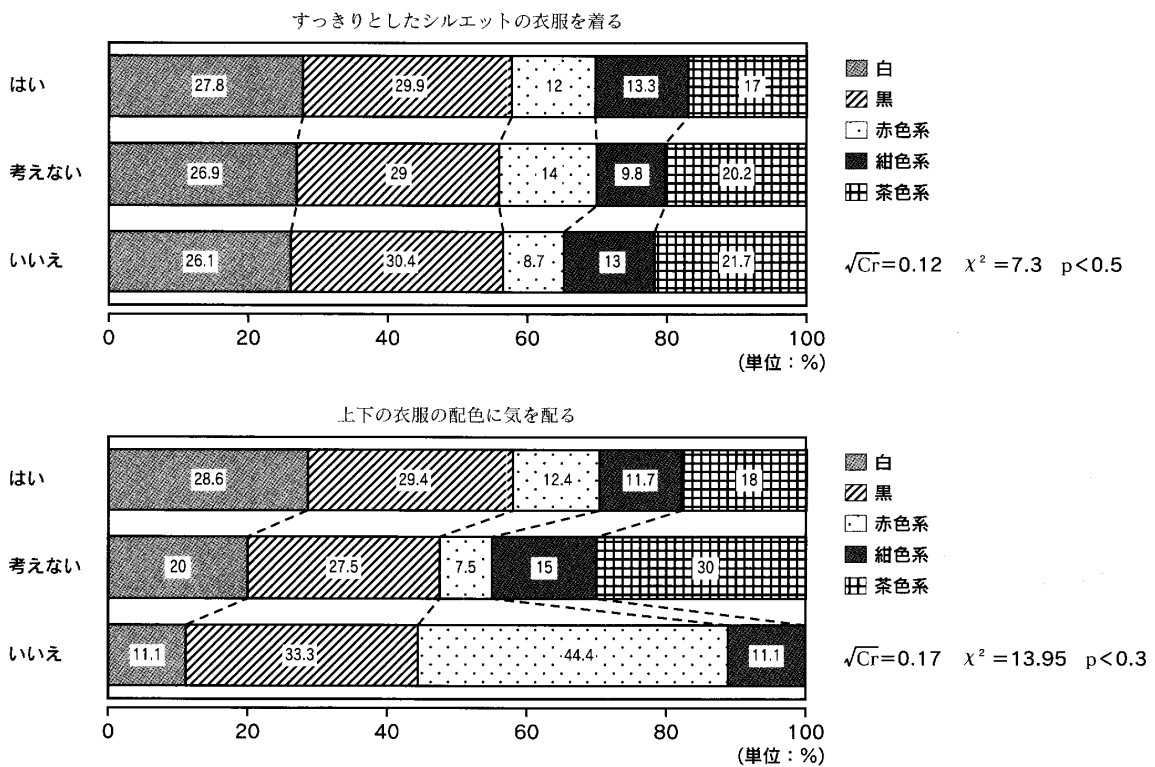


図16. 着装行動と好きな衣服の色とのクロス集計結果

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について

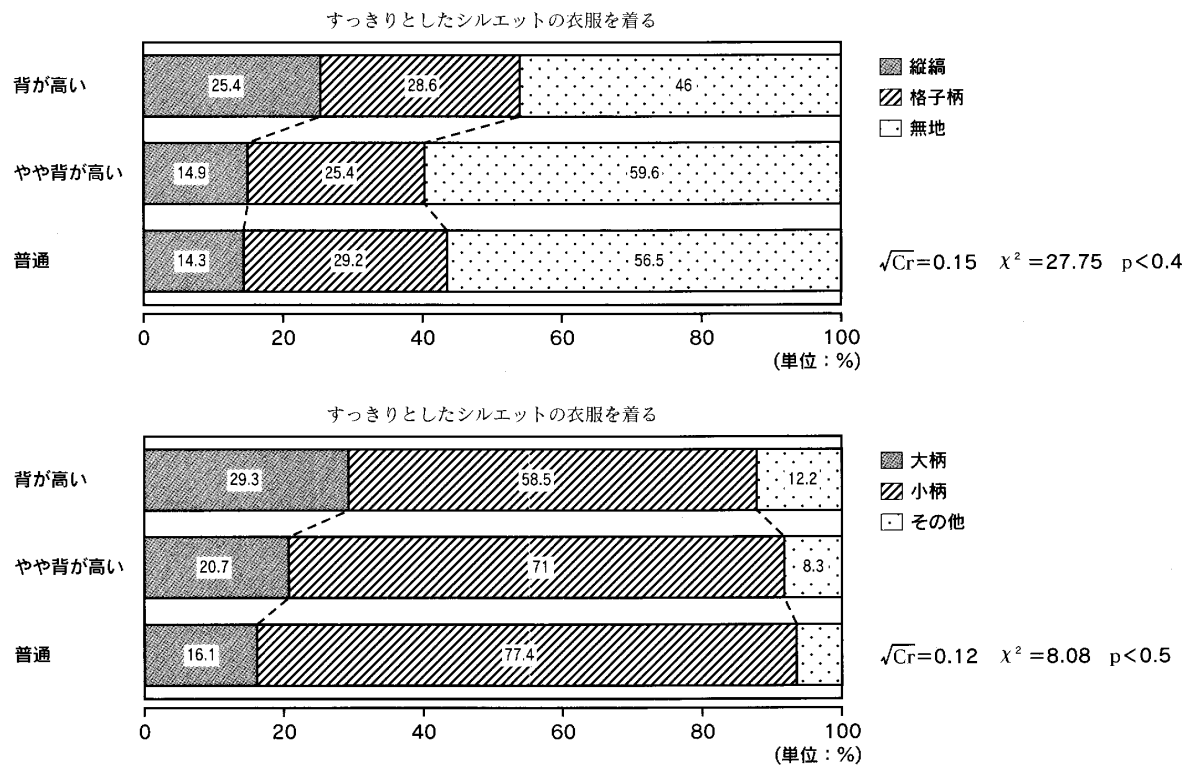


図17. 理想とする身体と好きな衣服の柄とのクロス集計結果

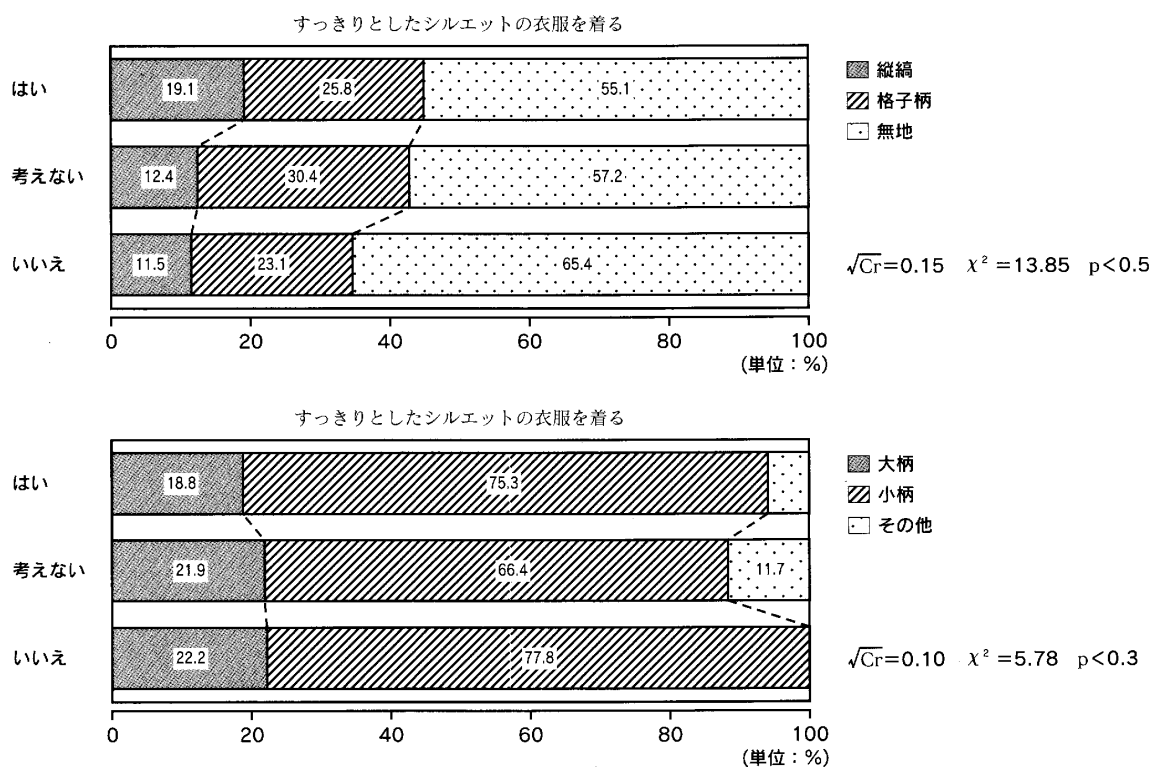


図18. 着装行動と好きな衣服の柄とのクロス集計結果

4. 要 約

女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について調査した結果、次の様なことが明らかになった。

4-1 衣服のシルエットについては、細く見えるシルエットが好まれるという結果が得られ、細く見せたいという気持ちがあらわれていると考えられる。衣服のデザインに関しては、流行の影響が強いが、スーツ・ワンピースでは、シャネル・スーツやチュニック・スーツなど落ち着いたシンプルなデザインに人気がある。上衣では、春、秋には、シャツ・ブラウスが好まれ、夏はサマー・セーター、冬はプルオーバー・セーターなどニット類も人気がある。スカート・パンツ類ではどの季節でもタイト・スカートが好まれて着用されている。衣服の色や柄に関しては、白や黒、無地など無彩色で、柄が目立たないものが好まれている。

4-2 衣服のシルエットやデザインと、サイズや身体の悩みの有無、理想とする身体、満足度、着装行動などとの関連性は、それほど強くはなかった。しかし個々に関して、サイズと衣服のシルエットとの関連では、サイズの大きい人の方が、スリム・シルエットが細く見えると考えている。身体に対する満足度と衣服の好みとの関連では、満足グループと不満足グループの間であまり差がみられなかった。これは身体に満足していてもしていなくても、好みのシルエットはあまり違いがないといえる。身体に対する悩みの有無と好きなデザインでは、悩みのない人の方が、タンク・トップやタイト・スカートなどを好んでいる。また身体に対する悩みの有無と好きなスカート丈では、足が太いという悩みのある人の方が長めのスカート丈を好み、悩みのない人の方がミニ丈を好んでいる。これは悩みのない人の方が体型を現しやすいデザインの衣服を好む傾向にあることがいえる。このようにサイズや身体の悩みの有無や着装行動と、好きな衣服のシルエットやデザインなどとの間に関連性があることがわかった。

終わりに、本研究にあたり、ご指導下さった奈良女子大学中川早苗教授に深く感謝申し上げます。

参考文献

- 1) 神山進, 牛田聡子, 枅田庸, 織消誌, 28, 25 (1987)
- 2) 神山進, 牛田聡子, 枅田庸, 織消誌, 28, 38 (1987)
- 3) 日本規格協会編, 日本人の体格調査報告書 (1984)
- 4) JIS衣料サイズ推進協議会編, 女子用衣料のサイズシステム, 13 (1987)
- 5) 大矢愛美, 中川早苗, 織消誌, 30, 11 (1989)